

小学校 4年 総合的な学習の時間

考える

×

書く

育成したい
国語力

分からないこと、不思議に思うことなどについて、必要に応じ書き表す。

単元名 「身近な生活環境を見直そう」

単元目標 自分たちの身近な生活環境を調べ、よりよい生活環境を作るために自分にできることを考える。

本次の目標 学校周辺の環境を見つめ、追究課題を見付ける。
(課題発見力)

導入

クリーン作戦のルールと本時のめあてを確認する。

めあて: 小周辺の環境「?」「!」を見付けよう。

展開

グループ毎に周辺のクリーン作戦を行う。

自分の活動を振り返り、地域環境の「?」(はてな)と「!」(すごい)を書き分けて箇条書きで記録する。

学級で「?」「!」の交流をする。

校区全体の生活環境に視野を広げ、追究したいテーマをもつ。

追究したいテーマごとにグルーピングし、追究方法、内容、報告方法などを相談し計画書(ポスター)を作成する。

これからの活動を説明する。

まとめ

他のグループの説明で参考になった点をグループ内で交流し、計画の改善を図り、次時への見直しをもつ。

第1次(3)(本次)

小周辺の環境ウォッチング!

- ・クリーン作戦 追究課題の設定
- ・追究の計画の作成

第2次(6)

課題追究をしよう

- ・観察調査活動、情報の収集等

第3次(6)

追究したことを伝えよう!

- ・追究したことから自分たちにできることを考え実践する。
- ・報告会

第5次(1)

振り返り(評価)

視点 ①

クリーン作戦を通して得た地域環境の情報や思いを、疑問や驚きの視点に焦点化し、書き分けることで、考える力を高めることができます。また、総合的な学習の時間の追究課題への視点もより明確になります。

地域環境のマイナスのイメージだけでなく、人々の努力で整備されてきた「!」(すごい)にも気付かせ、実践者としてのあるべき姿を感じ取らせることも大切です。

視点 ②

簡潔に表したメモをもとに、詳細を付け足したり、追究したい優先順位やその理由を整理したりします。

ここでも、言葉で書いて整理し、記録をしていくことが、これからの課題追究の基盤となってきます。

また、友達との交流の中で、自分の考えと比べたり、つないだりして考える力を確かなものにしていくことができます。

小周辺環境ウォッチング 「?」と「!」をさがそう

?	場所	くわしい様子

!	場所	くわしい様子

国語力育成の視点

総合的な学習の時間では、具体的な体験や事物のとのかかわりをよりどころとして、感じたり考えたりしながら様々な情報を獲得していきます。

体験から感じ取ったことを言葉で表現する場や時間を適切に準備することが、総合的な学習の時間の学びを充実させるためにも、言葉の力を実生活に生かし、考える力や感じる力を育成する意味からも大切なことです。

川調査隊

河原には、いろいろな種類のごみがたくさんあった。空き缶、プラスチック、タイヤ、木、雑誌などがあつた。このままごみがたまっていくとどうなるのだろうか。

体に悪くないだろうか。
川の水は汚れてないか。
家庭のごみのゆくえは?
町ぐるみのごみ減量作戦は?
調べたことを基に自分の考えを出し合ってサミットを開きたい。

きれいな花調査隊

クリーン作戦で去年行った時には、空き缶が捨てられて散らかっていた。今日は、きれいな花のプランターが並べてあつてごみがなくておどろいた。

だれが作ったのか調査したい。
なぜ作ったのか聞きたい。
近くの人、どう思っているのかアンケートをとりたい。
わたしたちも一緒にプランター作りをして地域を美しくした報告をしたい。

低学年

中学年

高学年

中学前

中学後

国語

社会

数算
学数

理科

外国語

活特
動別

道徳

な総合
学習的